

経営比較分析表（令和6年度決算）

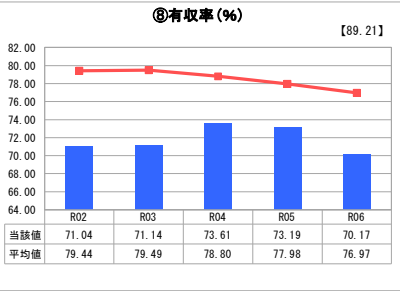
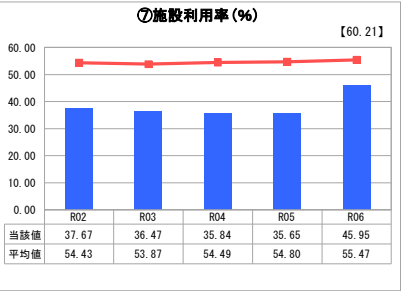
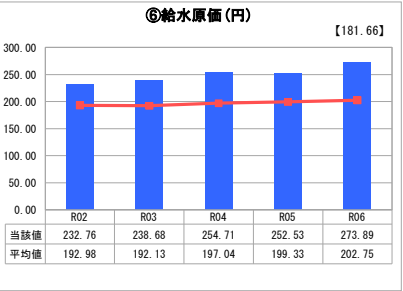
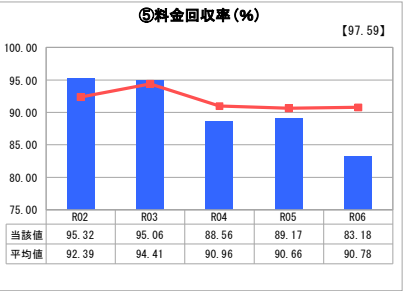
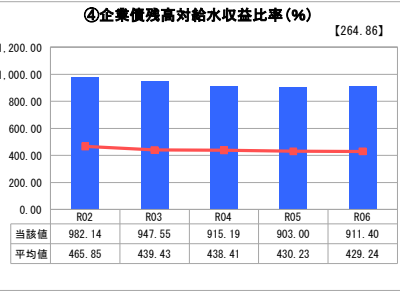
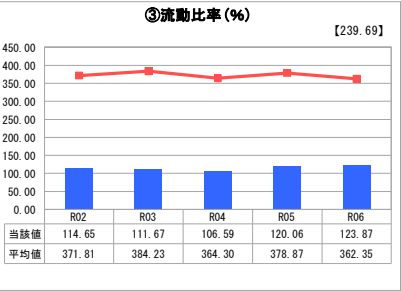
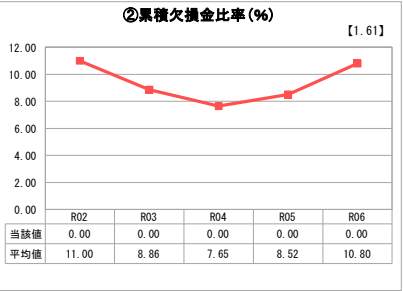
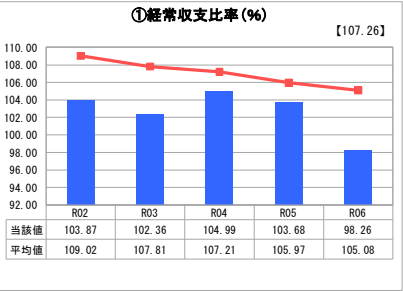
福島県 南会津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	57.41	97.90	4,400	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,349	886.47	15.06
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,929	123.13	105.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、類似団体平均値を下回り、R6決算時から単年度収支で赤字に転落した。急速に進む人口減少に伴う水道料金収入の減少、管路の修繕費及び施設動力費の増大等が主な要因であり、水道料金の改定をはじめ、経営改善を図る必要がある。

「③流動比率」は、企業債残高の減少に伴い、増加傾向にあるが、依然として類似団体平均値を大きく下回っており、短期的な支払能力を確保する必要がある。

「④企業債残高対給水収益比率」は、簡易水道事業と事業統合した影響が色濃く、類似団体平均値を大きく上回っている。水道料金収入の規模に見合わない投資が続く状況にあり、比率の改善に至っていない。

「⑤料金回収率」は、経営の見える化に伴い、R4以降大きく減少している。料金回収率を改善させるため、R9での水道料金改定に向けた準備を進める。

「⑥給水原価」は、中山間に位置し、広大な面積を有する当町特有の地理的要因により、水道施設が広範囲に点在し、維持管理コストも増加しているため、類似団体平均値を大きく上回っている。

「⑧有収率」は、継続した漏水調査により、大規模漏水箇所等の発見・解消は進んでいるが、共同給水管等からの漏水が毎年多発しており、比率の改善には至っていない。

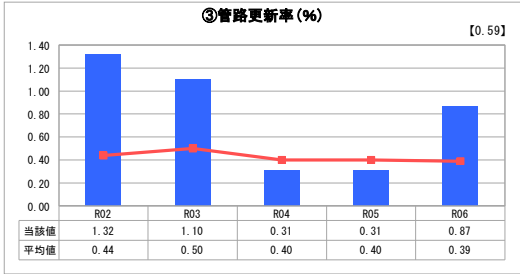
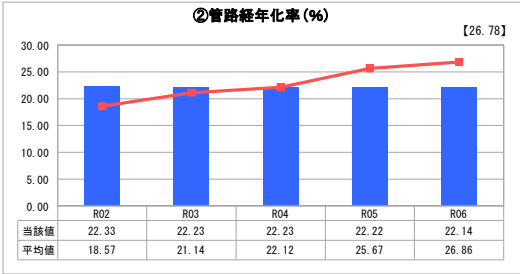
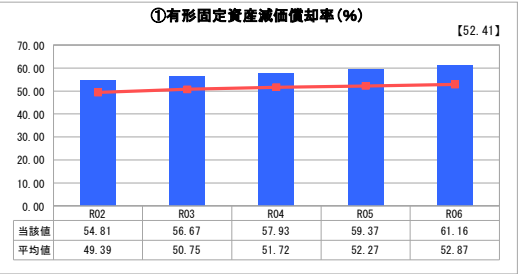
2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、年々増加傾向にあり、施設の老朽化が進んでいる。また、経営状況の悪化から、施設の更新需要に対応できていない現状にある。

「②管路経年劣化率」は、ここ数年横ばいで推移しており、類似団体平均値を下回っている。

「③管路更新率」は、国庫補助金を活用しながら、計画的な管路更新に努めている。前倒し要望等により、年度ごとの事業規模にばらつきはあるものの、類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況



全体総括

急速な人口減少に伴う水需要の減少や、節水機器の普及等により、水道料金収入が減少する一方、水道施設の更新需要は増大している。

将来にわたり安全で強靱な水道を維持していくため、令和5年度に策定した「南会津町水道ビジョン」に基づき、固定資産の最適化や企業債借入額の平準化など、長期的かつ計画的な経営改善に努めているが、経営状況は一層厳しさを増している。

経営改善の一手として、R9に水道料金改定を予定しているが、継続して水道施設の統廃合・ダウンサイジングも進めていく。